

花と緑と水のまち

みま た

広報

Mimata Public Relations

特集-1

日本最南端の「どぶろく特区」認定

"百姓"が耕す 三股の魅力

三股の顔がまたひとつ生まれた

特集-2

4万5,000人が彩った

第15回ふるさとまつり

特集-3

功績をたたえて

平成17年度町表彰

特集-4

行財政改革実施年

町は改革を進めます

VOL.8

12

2005 Vol.424
平成17年12月1日発行



日本最南端の「どぶろく特区」認定
三股の顔がまた一つ生まれた

百姓が耕す 二股の魅力

Special Feature



「うまい」
その言葉が未来の肥やしになる

「せい、つばおもしろい、おれがやるー」
農業を営む木下行春さん（左）は道場百姓屋代表・49歳。は、町からのどぶろく特区の提案に大きくうなずいた。
民間事業会社の経済活動や地域振興のためのさまざまな事業を妨げる国の規制を取り除こうという構造改革特別区域計画。平成16年12月、町は「日本のふるさと再生特区」、通称「どぶろく特区」の認定を受けた。
周囲の市町村が合併する中で、単独の道を歩む町として元気の良さをアピールし、三股町独自の「で活性化を狙った試みである」。

町では、農業に加えて陶芸や乗馬なども体験できる。体験型グリーンツーリズムを、実践している「どぶろく」と組み合わせ、「町独自のグリーンツーリズム」に広げたいという。
一方、同僚務企画課の新地浩企画政策係長は「三股町の今後を見据え、「まだ始まったばかり。交流人口を増やし、どぶろくを町の特産品として定着させていくためには、今後の地道な活動と地産地消などの工夫が必要だ」と、まちの魅力づくりに力を引き締めた。

※写真の一番ピンは店内で提供するための容器です。ピン詰め販売はしていません。

木下 行春の挑戦

農業を通して、いかに三股に魅力を持たせるか
それが一番大事なことだ



免許を取得できる人は、農家民宿や
農家レストランを自ら営んでいる農業
者に限られている。また、その経営者
本人が生産したコメを主原料にとぶろ
くを造らなければならぬなどの条件
が付く。特区に認定されているからと

唯一の農家
「どぶろく特区」に認められた区域
(県内では本町のみに)では、「酒を造る
場合には、年間6時(一升ビンにして
約3300本)以上製造しなければなら
ない」という酒税法の基準が適用さ
れなくなる。これにより、大量製造の
技術や能力のない農家が「どぶろく製
造免許」を取得すれば、どぶろくを造
ることができるようになった。

いって、町内の誰かがどぶろくを造る
ことができるわけではないのだ。
仮に無免許の人がどぶろくを製造す
れば、法律で罰せられることになる。
町内でこの条件に当てはまる人は木
下行春さんただ一人だった。

■
農業を専業に営んでいた木下さんは、
12年2月、ヨーロッパでグリーンツー
リズムと出会う。
グリーンツーリズムとは、ヨーロッ
パ諸国で普及した旅のスタイルで、近
年日本でも注目を集めてきている「農
山漁村の生活を体験する旅」のことだ。
木下さんが訪れたドイツの農家では、
自家生産したブドウからワインを造り、
観光客や滞在客に振る舞った。目の前
に広がるブドウ畑がその地で造られた
芳醇なワインをいっそう引き立てる。
木下さんは農業を営むだけに、その
感覚は誰よりも強かった。

「チーズやワインなども自家製だっ
たんですよ。木下さんは目を輝かせ
ながらその時の様子を話した。

「生産・加工・販売」という一連の
産業過程を農家で行いたいという夢を
追いつけてきた木下さんにとって、ま
さに理想の農家の姿だったのだ。

帰国して間もなく、木下さんは「そ
ば道場百姓屋」を立ち上げる。
そこでは自らが堆肥と種子を混ぜて
種をまくという昔ながらの方法で育て
たりバヤ、温水消毒した種のみから発
芽させ、アイガモ農法で育てたコメを

使った食事を提供している。
ほかの食材も三股産のものばかりを
使い、地産地消をうたり。
農作物の生産過程からこだわりを持
つ木下さんは「人ができないことでは
なく、人がしないことをするのがモッ
ト」。何事にも誠意を込めれば、周り
が安心してくれる。それが糧にもなる
し、励みにもなります」と話した。

15年8月には号店を開き、2店舗
を一家総出で切り盛りしている。
「これからの農家は、需要を待つて
いるだけではだめ。消費者に歩み寄る
ことが大切だと思う」。

木下さんは自分が信じる農家の未来
像へまた一歩足を踏み出したのだ。
しかし、それでも木下さんの未来像
にはまだ遠かった。

**どぶろくって
新たな農業に挑戦**

16年8月、そんな木下さんのもとに
町からどぶろく特区の呼び掛けがあり、
木下さんは二つ返事で快諾した。

それは木下さんが思い描く「農業の
未来像」がはっきりと姿を現した瞬間
であり、「三股独自の農業」と「グリー
ンツーリズム」が一本の線でつながっ
た瞬間でもあった。

「農家の喜びを消費者に知ってほし
い。うちは農家の顔が見えるように三
股産の材料を使い、農業体験者が自
分で収穫したものを食べることで、何
倍もおいしくなりますからね」。

おもしろい!! そいつはオレがやる!!

「生産・加工・販売」というすべての流れを行うことは
農家にとつて夢だ

—オレがやる—。言い放った木下さんの目には、それまで彼
の中でモヤモヤしていた「三股独自の農業」のビジョンが、ど
ぶろくを手掛ける先に鮮明に映し出された。
「失敗すれば『農家とは』こんなものか」と言われるプレッシャー
はありますが……。木下さんはこう語りながらも、そのまな
ざしは先を見つめる。



木下行春

1966年(昭和41年)生まれ。75年就農。
97年、県農業改良普及協力員就任。
99年、町農業委員就任。03年、そば
道場「百姓屋」開業。08年、2号店
開業。現在、県農業改良普及協力
委員会長を務める。

「百姓」が耕す
三股の魅力



濃厚で、ほんのりあまくキレがいい。
三股初の「どぶろく」は懐深い味に仕上がった。

木下さんは、経営するレストランで、どぶろくに合わせて提供する料理の食材が三股産品であることを売り込む。町内のさまざまな体験型グリーンツーリズムとどぶろくツーリズムを一体となった魅力の「どぶろくツーリズム」を三股の魅力をしたいと考えているのだ。今年9月、木下さんは九州初のどぶろく製造免許を取得した。

「周知から」どぶろく製造免許が下りるのは難しいからあきらめれば「な」と言われたこともありましたが、でもわたしはあきらめるつもりはなかった。国、県はもちろん、町からも補助金を助成金が下りていない中で、木下さんは自力でレストランを立ち上げ、醸造免許を取得したことや本免許取得に臨んでいたことなどが彼の自信につながっていた。

また、木下さんは子どものころの思い出を話した。

「わたしは小学校5年生のころ、荷物を運ぶため、自分で台車のようなものを作ったのです。後で友人に聞いた

話ですが、その裏側に「木下農産」と書いてほしい。今思えば、そこがわたしの原点です。」

木下さんは目を細めた。少年時代から変わらぬ持ち続ける好奇心や探究心、農業への思いが彼の中には根を張っているのだ。少しの間をばさんで、「挑戦、は好きですね。」

木下さんは照れながら笑った。

杜氏、桑畑雅博の参加

木下さんには、どぶろく製造免許を取得するうえで最大の難関があった。酒造りの知識と技術が必要だったのだ。それを持ち合わせない場合は、酒造りの職人を雇うか、約3カ月の研修で習得しなければならなかった。

そこに「匠町には桑畑雅博さん(山王原、74歳)という杜氏(酒を造る職人)がいる」という情報が舞い込む。

木下さんは早速、桑畑さんに協力を要請すると、桑畑さんは「木下さんの熱意と役場の協力体制に引かれた」と快く申し出を受けてくれた。

桑畑さんは、霧島酒造株式会社(都城市の元顧問、現役時代、ブレンドを経て焼酎などの製田開発を受け持った。同社の代表作ともいえるも焼酎「黒霧島」の開発にも核として携わった酒造りのスペシャリスト。心強い味方が加わった。

こうして木下さんと桑畑さんの「三股産どぶろく」造りは始まった。

霧島酒造生産本部の協力を得ながら、試作を重ねる。

「焼酎は、広く飲まれていたため、消費者の中に、焼酎とはこんなものという共通認識がありません。しかしこのどぶろくにはまったくそれがありません。」

さすがの桑畑さんも、どぶろく独特の甘みとアルコール、さまざまな風味をどうやって引き出すかに苦慮した。消費者が「下す」とどぶろくの評価「がまったく見えないのだ。」

「はじめはめずらしくさで飲まれるでしょうが、リピーターと成って来てくれるか...。桑畑さんは、当然先を見越す。周囲の期待が大きいためにプレッシャーが重くのしかかった。



夢を醸すどぶろく完成!

木下さんと桑畑さんは試行錯誤を繰り返して、どぶろくを醸す工程を2種類に絞り込んだ。

「ほうはまるやかで濃厚なタイプに仕上がりました。もういっぼうはすっきりして端磨辛口に仕上がる。どちらかを三股産どぶろくに使うのか、10月14日、霧島酒造の協力者4人を交えながら、さらに検討を重ねた。

同生産本部研究開発グループの黒木久仁子さんは「どぶろくは食事と合わせる一番いいお酒。話しながら味わうというイメージではこちらのほうですね」と濃厚なタイプに仕上がるほうの麴を推した。

結果、全員一致で使用する麴が決まり、初蔵出しに向けてどぶろくの本製造に取り掛かったのだ。

10月21日、待望の初蔵出しが、農業関係者や地元住民ら約100人の出席のもと、「そば道場百姓屋1号店」で行われ、産声を上げたどぶろくを口にしました参加者は、「口の中に甘さが広がっておいしい」を絶賛した。

「本当の評価はまだ分からない。ただ、この造りはどぶろくの中でもよいのだ。コメが良く、麴は清酒用だし、酵母は醸造試験場で培養されているものだしね。いいものに仕上がった。」

桑畑さんは自ら手掛けた「三股産どぶろく」に自信を表した。

木下さんは生まれたどぶろくを片手に「三股にしか無いものを作った。ここに在る皆と今日を喜び、これから町の魅力につなげていきたい」とまだ描き終えない夢を天を仰いだ。

生まれたての赤ん坊を育てるようなもの

杜氏 桑畑雅博さん

酒造りは、気候の低い土地が適していますが、高冷のようだが酒造りに適した下は早いです。その分産量も少なくなっています。

アルコール濃度が低い場合、ある意味ではそれを好む人もいます。それが弊害、お酔いを覚ます。

小さい工場では酒造る場合は、非常に体の調子を整える必要があります。心の準備が必要で、ちょっとした揺動の導入で、どんなものができ上がるか分からない、気が抜けないうえね。

酒や焼酎はアルコール度数が高い分、味をなとしてしまいがちで変わってしまふ恐れがあります。ですから、よくは除菌と焼酎の合わせ、長時間空気に触れたり、普通温度にさらされたらと弊害の恐れがあるので、消費者の力でも注意してほしいです。

弊害から一歩引いてほしいのは、もう一方の産地からとられているのは、もう一度酒や焼酎と同じ感覚で流通させるには、いっしょに小さな設備も必要だし、地道に、現場に消費を伸ばしていく必要があります。



桑畑雅博
1931年(昭和6年)生まれ。52年、卒業である霧島酒造に就任。72年、霧島酒造株式会社入社。83年、同社製田部長就任。同年、取締役生産部長就任。03年、同社顧問に就任後、02年退社。78年から01年まで、熊本酒造組合主催醸造研究会、奥酒造組合連合会醸造研究会の審査員を務める。

地産地消を狙った良い試みだと思えますよ



霧島酒造株式会社 生産本部 副部長 高瀬 良和 さん

Interview

自治体は独立歩歩の中で、活性化にもなるし非常におもしろいと思っています。外販、小売での消費拡大は思わぬくらいあります。で、農産や酒造りなどのような販路を使わずに、地産性を十分に出して、どぶろくを醸造する。その地産、と進んでいければ、町の活性化につながっていくんじゃないかなと思います。

10月21日は飲み会です。後継者がいます。甘んじて種をまいてほしいです。

「百姓」が耕す
三股の魅力

三股の顔になり得るどぶろくは出来た。このどぶろくには「軒の農家が夢を追い、それに呼応した人々の思いがブレンドされている。しかし、これから町の産物や人々の生活とよりまくブレンドできるのだからか。特区の認定、どぶろくの誕生が、町の文化のあり方を問い掛けている。木下さんは夢の続きを「産地消の。どぶろくツーリズム。だ」と目を輝かせる。どぶろく製造を三股の魅力へつなぐための一つの手段としてとらえているのだ。

どぶろくとグリーンツーリズムがうまくかみ合えば、確かに町独自の魅力になる。しかし、それをつくっていくのは、何も参加農家らだけに関係しているものではない。

スローライフを求めるツーリストは、農業体験やどぶろくの裏に癒やしを求め。三股で過ごす時の流れの中に、また、町民との会話の中に癒やしを求め、「また来よう」という気持ちを生み出す。多くのツーリストが町文化との交流を積み重ねて、初めてどぶろくツーリズムが三股の魅力になるのだ。

幸い、町にはジャンカン馬踊りや棒踊りなどの伝統芸能や、その心を

「どぶろく」が “まちの魅力”を 問い掛ける

三股の顔になり得るどぶろくは出来た。このどぶろくには「軒の農家が夢を追い、それに呼応した人々の思いがブレンドされている。しかし、これから町の産物や人々の生活とよりまくブレンドできるのだからか。特区の認定、どぶろくの誕生が、町の文化のあり方を問い掛けている。木下さんは夢の続きを「産地消の。どぶろくツーリズム。だ」と目を輝かせる。どぶろく製造を三股の魅力へつなぐための一つの手段としてとらえているのだ。

受け継ぐ人々、豊かな自然など「三股の魅力」につながる資源は豊富だ。しかし、いくら財産があってもそこに住むわたしたちが使いこなさなければ土に埋もれてしまう。どれだけ自分のまちを知っているか。どれだけ自分のまちを愛しているか。それが、まちの魅力の根幹を成すのだ。

町民の皆さんも、まずはどぶろくを飲んでみてはどうだろうか。町内のグリーンツーリズムを体験してみればどうだろうか。

「まち」は、人がつくるのだ。

一粒の種が まちの魅力に育っていく



どぶろくの産める店
そば道場百姓屋1号店 三股町大字榊山257番地 問い合わせ/TEL.0986-62-2527
（夏祭りのみです。ピンポイント予約はしていませんので、お急ぎが必要です。お問い合わせは必ず事前にお電話ください）
 百姓屋の産める店
そば道場百姓屋2号店 三股町五本松3415番地3（三股町総合文化施設内）
営業時間：午前11時～午後2時30分、午後5時30分～午後10時、日曜休、お問い合わせ/TEL.0986-62-8085

金町とどぶろく、伝統的では、木下町内店が産地消の。農業体験で「産地」とまじりこめるのが魅力です。

どぶろくツーリズム

三股を肴に酒を飲む

三股文化とどぶろくをつなぐ、新しいまちの魅力構築

三股の文化と どぶろくの組み合わせで、 夢はもっと広がる。

どぶろくを中心にした「どぶろくツーリズム構想」。三股の地域資源を最大限に生かして、それぞれの魅力を一本の柱でつないでみる。どぶろく製造農家を拠点に、三股町のスローライフを満喫できるのは魅力だ。今後、農家民泊や農家民宿のできるどぶろく製造農家が誕生すれば、その魅力は倍増する。



町では、基幹産業である農業を主とした体験型グリーンツーリズムを実践している。そば打ちや乗馬、パラグライダーなどの体験もできる。汗を流した後のどぶろくは舌鼓。



【伝統文化】

ジャンカン馬踊りや棒踊り、郷土芸能を堪能しながら、その歴史を讀じて酒を酌み交わすのも一興。



【観光】

豊かな水と自然にあふれる三股町は、惟八重公園や長田峠など、花と緑と水に包まれた癒やしの時が流れる。



【地場料理】

恵まれた気候と豊潤な大地が育てる三股の産物は、どれをとっても味わい豊か。三股産品で作られた料理を酒のさかなに。



【陶芸】

自作の器でどぶろくを飲めば、また格別。町内には6つの窯元が点在している。



功労賞(体育部門・団体)
姫城東高等学校剣道部男子
 同団体は、剣道競技において地道な努力を重ね、これまで数々の大会で優秀な成績を収め、輝かしい伝統を誇ります。特に、平成16年度全国高等学校剣道大会で準優勝、平成17年度五冠旗全国高等学校剣道大会3位に入賞されました。



功労賞(体育部門・団体)
三股中学校剣道部男子
 同団体は、剣道競技において地道な努力を重ね、これまでには素晴らしい成績を収めています。特に、本年8月に開催された全国中学校総合体育大会剣道競技団体の部で3位入賞されました。



功労賞(体育部門・団体)
三股中学校駅伝部女子
 同団体は、駅伝競技において地道な努力を重ね、これまでには素晴らしい成績を収めています。特に、毎年11月に開催される高松中学校女子駅伝競走大会では、3年連続優勝を成し遂げられました。



功労賞(行政部門)
福安 征感さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



功労賞(行政部門)
久木山 正明さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



功労賞(行政部門)
有村 貴男さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



功労賞(行政部門)
瀬尾 忠義さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



行政特別功労賞
永山 芳泰さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、行政特別功労賞を受賞されました。

「平成17年度三股町表彰」



功労賞(社会部門)
持原 稚子さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(社会部門)を受賞されました。



功労賞(社会部門)
二之方クニ子さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(社会部門)を受賞されました。



功労賞(行政部門)
森木 赤明さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



功労賞(行政部門)
時任 綱治さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(行政部門)を受賞されました。



功労賞(学術部門)
池邊 優紀さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(学術部門)を受賞されました。



功労賞(学術部門)
福田 要伍さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(学術部門)を受賞されました。



功労賞(体育部門・個人)
川畑 竜也さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(体育部門・個人)を受賞されました。



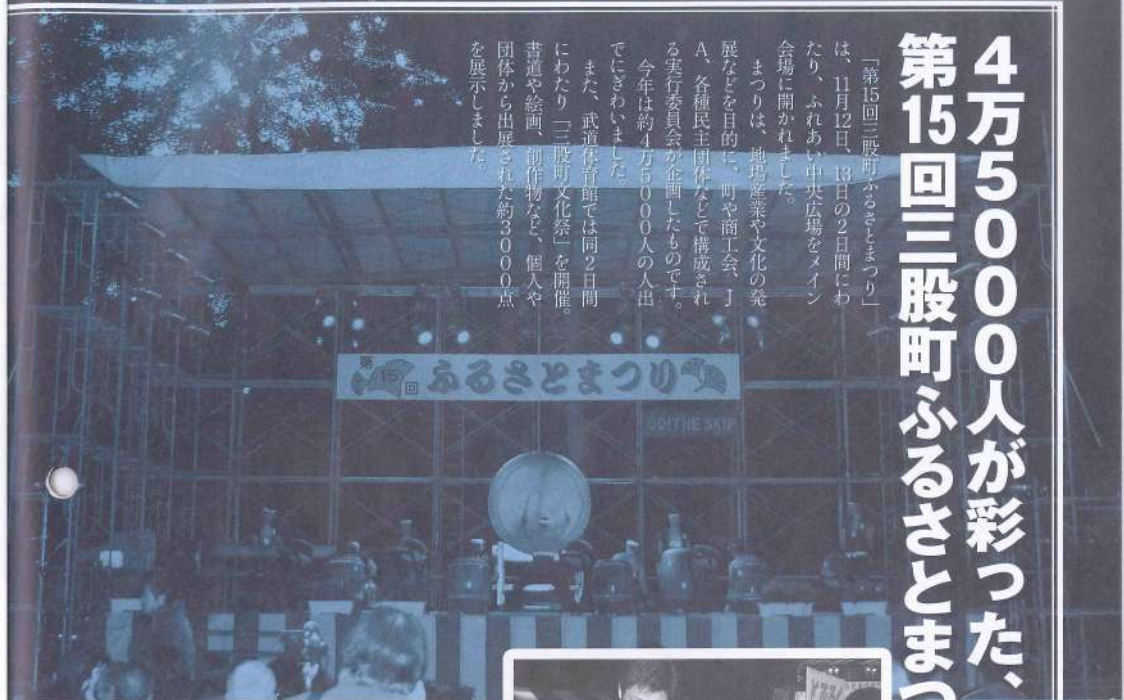
功労賞(芸術部門)
原口 弘子さん
 平成17年度、本市の発展に貢献された功績を認め、功労賞(芸術部門)を受賞されました。



町は11月3日、平成17年度三股町表彰式を文化会館で行い、13人・3団体を表彰しました。表彰は、「三股町表彰条例」「三股町文化賞等に関する規則」に基づき、町政の振興や町民福祉の増進、文化の発展向上などに優れた功績のあった個人、団体を顕彰するため、毎年文化の日(11月3日)に式典を挙げています。

4万5000人が彩った、第15回三股町ふるさとまつり

「第15回三股町ふるさとまつり」は、11月12日、13日の2日間にわたり、ふれあい中央広場をメイン会場に開かれました。まつりは、地場産業や文化の発展などを目的に、町や商工会、JA、各種民主団体などで構成される実行委員会が企画したものです。今年は約4万5000人の人出でにぎわいました。また、武道体育館では同2日間にわたり「三股町文化祭」を開催。書道や絵画、制作物など、個人や団体から出展された約3000点を展示しました。



さとまつりポスターコンクールで会長賞に輝いた故野穂さん(三股西小5年)



文化祭会場。作品のすばらしさに来場者はうっとり(武道体育館、12・13日)



どぶろくの試飲会では木下さん自らが振る舞った(12日) ※2・9日に関連記事



三股出身の久保博美さん率いる「GOTHESKIP」コンサート。猪俣井の新曲を披露(Mの町ナイトショー・12日)



おなじみの人間早馬。子どもも大人も力の限り走り抜いた(12・13日)



子どもも大人も力の限り走り抜いた(12・13日)



子どもの広場は、子どもたちの笑顔でいっぱい(12・13日)



メインステージでは徳田馬踊りも(13日)



メインステージでは徳田馬踊りも(13日)



子どもも大人も力の限り走り抜いた(12・13日)

町は改革を進めます

町は平成18年4月より、町立病院(国民健康保険病院)の管理運営を都城市医師会病院にお願いすることにしました。管理運営主体は代わりますが、今までどおり現在の場所で、現在の病院の機能を維持したまま運営されることとなります。町民の皆さんのご理解をお願いいたします。



☆町立病院の現状

町立病院は、町内に医療機関が少なかった昭和29年の開設時から地域医療の中核的な施設として、今年12月で50年目を迎えます。

この間、疾病の予防と治療などの医療ニーズに応えながら、町民が安心して生活できるよう公共福祉の向上に努めてきたところです。

しかしながら、医療技術の目覚ましい進歩発展とともに町内外に多数の病院・医院が開設され、地域医療の中核的な施設としての役割も少しずつ変化してきました。

このような中、医療保険制度の抜本的な改革による被保険者の一部負担の増加と診療報酬の削減をはじめ、施設の老朽化や医師不足などさまざまな要因から患者数が減少し、町立病院の

経営は危機的状況になっていきます(表1・2)。

☆経営健全のための協議

町民の皆さんとともにさまざまな行政財政改革に取り組んでいく中において、このまま病院を運営することは大きな財政負担となってしまう。

町は、病院経営の健全化を図るため、役場内に「国民健康保険健全委員会」を設置し、経営改善の方策を検討してきました。

一方、経営改善にあたっては町民の声を反映させることが重要であることから、平成16年、「町立病院の将来を考える協議会(委員12人)」を設置し、町立病院のあり方について協議を重ねてきました。

また、今年度の「行政改革推進委員会」の場でも、町立病院の経営健全化についての協議が

行われ、次のような提言をいただきました。

「町立病院の将来を考える協議会」の提言書

病院経営は、大変厳しい状況にありますが、町民が健康で安心して生活を維持していくためには、開業医だけでは困難であり、病院の存続は必要と思われまます。

経営改革を図り、健全経営に努力されるよう熱望します。

「行政改革推進委員会」の意見

○現状の赤字額からみて、まず存続は無理。今後は、救急病院のような働きをする施設が近くにできれば助かる。

○医療収益に対して、異常に高い人件費にメスを入れな

☆管理運営の委託

病院経営の改革にあたって、町は、住民の代表で組織された「協議会」・「委員会」のそれぞれの提言を尊重したうえで慎重に検討を重ねた結果、「効率的な行政運営を図る観点から、町立病院の経営は困難である。今後は指定管理者制度を適用し、病院の機能を残したまま、都城市医師会病院に管理運営をお願いする」と決断しました。町立病院としての50年の歴史に終止符を打つことは、大変残念なことではありますが、今後は都城市医師会病院ならでの高度な医療とサービス、町内の民間病院・医院との連携により、町民の医療ニーズに十分応えられ

るものと確信しています。

※指定管理者制度とは

公の施設(町立病院を含む)の管理委託は、これまで公共団体や公共的団体などに限られていました。

平成15年6月の地方自治法の改正に伴い、議会の議決を得れば、民間法人や団体などに施設の管理をお願いすることができ



知議院事務
松山保治・瀬尾昭兵
議会代表 重久邦仁

住民の立場から行政改革への提言や意見を述べていたため、平成17年度の行政改革推進委員会(黒木兼一郎委員長12人)を設置し、委員が交付されました。委員は次の方々です(敬称略)。

- 住民代表
- 1 地区 小牧照子
 - 2 地区 上石治行
 - 3 地区 黒木兼一郎
 - 4 地区 後藤田規子
 - 5 地区 池邊美紀
 - 6 地区 佐藤美雪
 - 7 地区 新垣康博
 - 8 地区 板谷麻生
 - 9 地区 月野一美

(表1) 1日平均患者数 単位:人

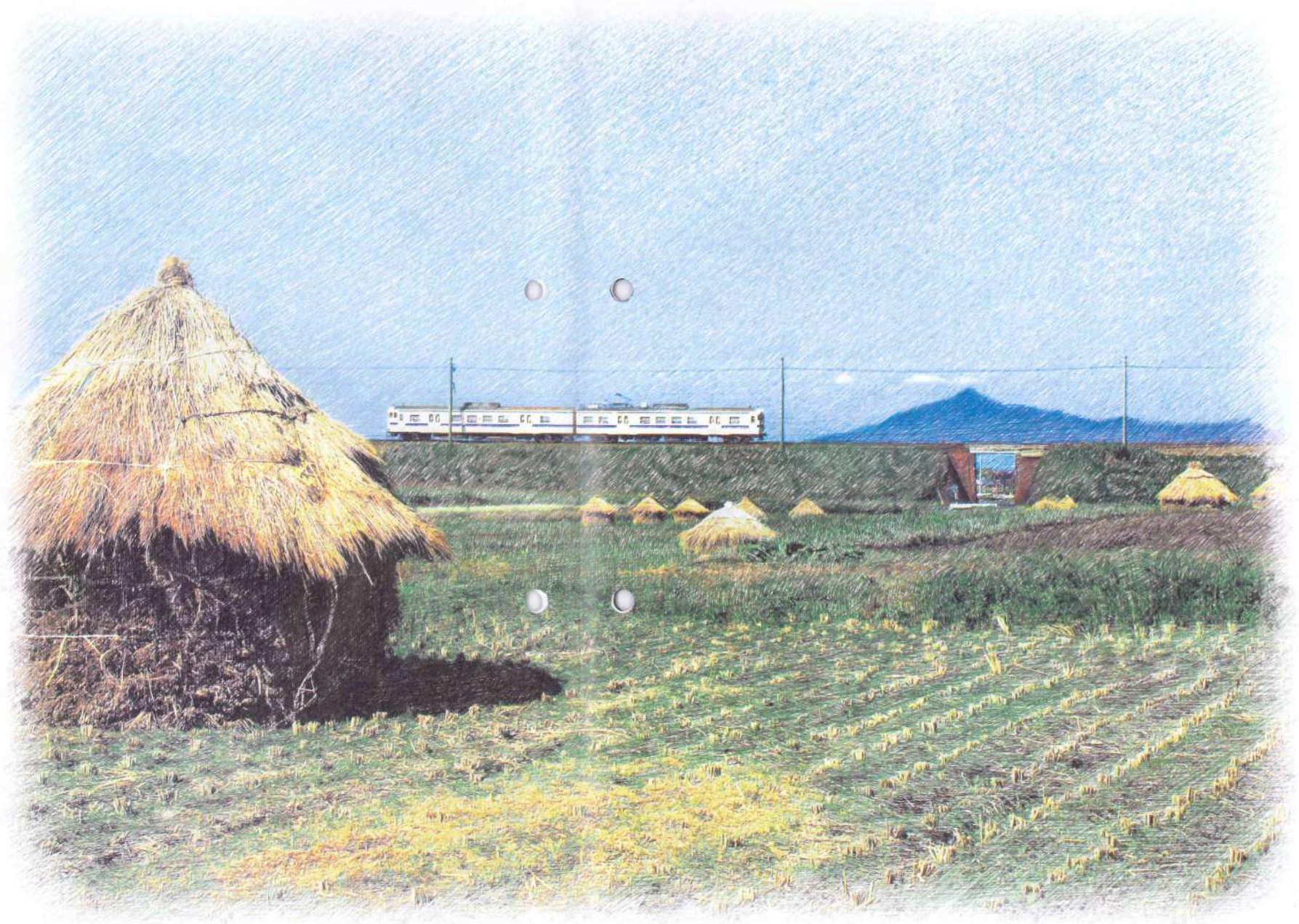
	年度	内科	整形外科	計
入院	平成13年度	24.5	7.3	31.8
	平成14年度	20.7	9.8	30.5
	平成15年度	20.3	6.7	27.0
	平成16年度	16.6	3.1	19.7
外来	平成13年度	98.5	59.3	162.9
	平成14年度	87.0	55.8	147.2
	平成15年度	83.1	54.3	141.2
	平成16年度	76.9	38.1	118.8

(表2) 病院事業収支状況 単位:千円

	収入 ①	支出 ②	収益 ①-②	医療収益に対する人件費比率
平成13年度	713,143	707,767	5,376	59.6
平成14年度	666,448	711,703	-45,255	65.9
平成15年度	649,344	688,939	-39,595	67.7
平成16年度	499,106	616,749	-117,643	81.1

- ければ、どの方法でも改善は無理だと思ふ。今の町立病院では経営改善に対しての企業努力は不足していると思ふ。
- 町民にとっては、大変親しみのある病院であるが、民間の病院が乱立している現在では、地域の病院としての役割は終わったのではないかと。
- 町立病院は廃止を検討すべき。累積赤字がこれだけのうちに廃止するほうが得策と考える。長田地区の高齢者は利用率が高かったため、廃止でも影響がないようにしてほしい。
- 健康診断業務を重点的にしたらどうか。また、休日・時間外診療など現在不便に感じている人の立場に立つた業務を今後の使命としてほしい。
- 公的病院の存在はその役割が大きいことから、行き詰まった財政事情ではあるが、町のシンボルとしてできれば存続の方向で検討してほしい。
- 現状から考え、経営は非常に厳しいことを踏まえ、決断を下し、決行を急ぐことである。

郷愁に胸を焦がす稲こづみ



稲こづみのある風景
(餅原)



めまぐるしい時間を過ごす現代人。ふと目に映った景色が、喧騒を離れさせてくれることがあります。最近では少なくなった「稲こづみ」。懐かしさで郷愁が込み上げてきます。

あがな
贖いの日々 交通事故はもうたくさん

当時、わたしは建設会社に勤めていて地方のダム工事現場で現場監督をしていました。入社して1年目、車の免許も取得して1年目の18歳でした。その日は突然やってきました。仕事納めということで午前中で仕事を終わりにして、以前から約束していた「現場の忘年会」を兼ねた食事会に出掛けたのです。酒の席になることは想像できました、いけないくらい分かってはいましたが、わたし自身あまり酒は飲まないから大丈夫だろうという甘い考えで自分の車を店まで乗っていったのです。事故はそのとき、車内にはわたしを含め4人が乗っていました。1人は同じ現場で働く仕事仲間の男性で、あと2人は以前の食事会のときに知り合ったばかりの地元女子高校生でした。わたしは3人を送り自分も寮に帰ろうと車を走らせていました。酒を飲んでいましたが、量も少ない酔った感覚もないから平気だろうという軽い気持ちで運転をしていたのです。わたしの車が交差点を通過したときでした。けたまましサイレンの音が聞こえ始めたのです。パトカーがものすごい勢いで追いかけてくるのが分かりました。突然の

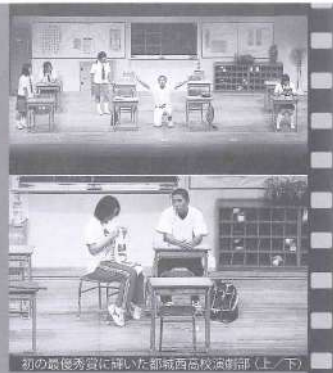
尊い命を奪って

出来事で自分は何をしたのか、なぜ追われているのか理解できませんでした。しかし、すぐに「まずい」という考えが頭に浮かんだのです。「酒を飲んでい」という後ろめたい気持ちを抱きながら運転していたからです。そして、わたしは「逃走」というあまりにも浅はかな身勝手な判断をしてしまったのです。気が付いたときにはもうすべてが起こってしまった後だったのです。逃走中の事故でした。わたしの運転する車は右カーブを曲がりきれず制限速度をはるかにオーバーしたスピードでガードレールに激突してしまいました。わたしは完全に反転してしまつた車内の中、意識を取り戻したのです。見るものすべてがゆがんでいました。ハンドルもダッシュボードもすべて、そのときでした。助手席に乗っていた女子高校生は亡くなりました。わたしの起こした事故が原因で死亡してしまつたのです。彼女の死を知ったとき、わたしはどうしたらいいのかわからず、ただぼう然としてしまったことを覚えていました。横では実家から駆けつけた母が泣き崩れていました。わたしは泣くことすらできませんでした。通夜と告別式には両親と兄が行ってくれました。当事者であるわたしは入院してしまし何うことができなかったの

T・Y 20歳 会社員

でした。退院してすぐに両親に会っていただき謝罪をさせてもらいました。何をされても構わないという気持ちでいましたが、明らかにわたしの過失で起きた事故にもかかわらず、わたしやわたしの両親を責めていただけ、励ましていただいたこともありませんでした。本当に申し訳なくて涙が止まりませんでした。17歳という若さで亡くなった被害者やご家族の無念さ思うと本当に胸が痛みます。また、自分の家族にも、生かせない影をつくってしまいました。わたしの人生活かけて誠意をもって謝罪をしていくつもりです。あの日、わたしの奪つたものは、もう2度と戻すことができません。この罪を背負って生きていこうと思っています。償いの生活はこれから始まるのです。

※贖いとは、罪を償うという意味。二に指載してある手記は、交通事故を付起こして刑務所で罪の償いをする人たちの最後の記録です。一篇の道ちによって、家族、恋人、友人など親しい人々から隔離され、自ら犯した罪を反響している様子が文脈の層層から伝わってきます。このような悲惨な事故を引き起こさないよう、心のぬめりにしていただきたいです。[東京交通安全協会提供]



初の最優秀賞に輝いた都城西高校演劇部(上/下)

Culture 文化会館

三股町立文化会館
〒889-1901 三股町大字榑山3404-2
TEL.51-3462 FAX.51-3561

高校生たちの熱演!!
11月6日に「高校演劇発表会興大会」を開催しました。10月の県予選大会(県内19校が出場)で選ばれた6校による決勝大会です。

時代劇「新撰組」でおなじみの俳優人さん(宮崎南高出身)や劇団こぶく劇場主宰の永山啓行さん(都城泉ヶ丘高出身)など、これまで幾多の舞台俳優たちがこの高校演劇の舞台を踏み有名になっていきました。この日、永山さんは大会審査員として参加。高校生たちの熱演を見守りました。高校生たちは、この大会のために自分たちで舞台道具を作り、照明や音響などの裏方を勉強し、演技に試行錯誤。その努力の甲斐あって、本番では若さあふれる表現力と自由な発想で最後まで堂々と演じました。そして並み居る強豪校の中から最優秀の栄冠を手にしたのは、地元部城西高校。昭和43年の演劇部創設

以来初の九州大会出場を決めました。宮崎県代表として12月に開催される九州大会(大分県)の舞台に立ち、全開大会を目指します。

2月のイベント情報
☆三股町文化の祭典(入場無料)
☆演劇文化の祭典(入場無料)
日時：2/11・12午前9時開演
11日：第一部宝篋まつり(午前)
12日：第三部元氣まつり(終日)
☆劇団こぶく劇場レコードプレーヤーシリーズ「音楽」とか
日程：2/17(夜)18(昼)19(昼)
昼公演は午後2時開演。夜公演は午後8時開演。開演は開演の20分前
料金：中学生以下1500円
今回は「音楽」をテーマに、この15年の作品の中に登場したさまざまな音楽を生演奏でお聞かせします。語り・コントなど多彩な内容も予定
※日時・内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。



本のことを調べる子どもたち



たくさん質問に図書が答えた

町内の小学生が図書館見学
10月5日に三股小2年生(83)、12日に宮科小1年生(8)、18日に梶山小2年生(11)、26日と27日に三股西小2年生(合計合わせて126人)がそれぞれ図書館の見学に来ました。はじめに、図書館についての質問コーナー。「お客さんは一日に何人来るか」などの質問があると、司書は「図書館には約8万8000冊の本があります。」「平均すると二日に約800人が来館します」といねいに答えました。その後、子どもたちは「図書館では走ったり、大きな声を出したり、飲食してはいけない」などのマナーを学びました。また、館内を回りながら図書館について調べていました。

で入選した絵画を展示しています。子どもたちが本を読んだときの感動や思いが、いきいきと表現されています。12月27日まで展示していますのでぜひご覧ください。また、感想文については入選作品集を作成後、図書館で閲覧できるようにする予定です。お楽しみに！
年末年始の休館のお知らせ
年末年始は、12月28日(水)から1月4日(水)まで休館となります。資料返却については、本・雑誌・紙芝居は休館中は返本ポストをご利用ください。なお、ビデオ・CD・DVDは、返却期限を確認のうえ、開館中にカウンターへ直接お返しください。
■休館案内(25)ぐらしのカレンダー
●毎週月曜日(この日が祝日の時はその翌日)・初日・毎月第3水曜日(●館内整理日)・館内資料一斉点検(●1年一回15日以内)

Library 図書館
MIMAMU
三股町立図書館
〒889-1901 三股町大字榑山3406-8
TEL.51-3200 FAX.51-3751

国際交流員のコーナー
芸術と踊りをこよなく愛した、ルイ14世は踊り手のプロになる場所を設立しました。バレエのプロを養成するため、国王バレエのアカデミー(学院)を作りました。その時代、ヨーロッパには強い芸術の協力関係があったので、多くの人はパリにバレエを勉強しに来ました。最初のアカデミーはフランスにあったので、舞踊の語はフランス語になりました。学校の生徒はそれぞれに帰国すると先生になり、フランス語でバレエを教えました。世界中、バレエを教えるときはフランス語を勉強して教えます。
今日、バレエはフランスの文化の一翼を担っています。
※1月から文化会館で子どもたちのためのバレエ教室を開設します！皆さんの参加をお待ちしています。
■問い合わせ教育課 国際交流員 シャル・ヤナ
まで ☎52-1111(内線4433)



シャル・ヤナ

お知らせ

年末年始

ごみ

●**年末**
ごみステーションでの収集
 ■燃やせないごみ＝
 12月26日(月) 午前8時まで
 ■燃やせるごみ＝
 12月30日(金) 午前8時まで
 ■資源ごみ(空き缶・びん)＝
 12月15日(木) 午前8時まで
 ■資源ごみ(トレイ・ペットボトル)＝
 12月22日(水) 午前8時まで

個人による搬入
 ■燃やせないごみ・資源ごみ(空き缶・白色トレイ・ペットボトル・びん)＝
 12月30日(金)
 午前8時30分～午後4時30分
 ※リサイクルプラザに持ち込んでください。
 ■燃やせるごみ＝
 12月30日(金)
 午前8時30分～午後4時30分
 ※清掃工場に持ち込んでください。

●**年始**
ごみステーションでの収集
 ■燃やせないごみ＝
 1月4日(水)から平常どおり
 ■燃やせるごみ＝
 1月6日(金)から平常どおり
 ■資源ごみ(空き缶・びん)＝
 1月5日(木)から平常どおり
 ■資源ごみ(トレイ・ペットボトル)＝
 1月12日(水)から平常どおり

個人による搬入
 ■燃やせないごみ・資源ごみ(空き缶・白色トレイ・ペットボトル・びん)＝
 1月4日(水)
 午前8時30分～午後4時30分
 ※リサイクルプラザに持ち込んでください。
 ■燃やせるごみ＝
 1月4日(水) 午前8時30分～
 ※清掃工場に持ち込んでください。
 ■問い合わせ
 環境水道課 環境保全係
 ☎52-1111(内線273)
 清掃工場
 ☎23-0277

都城北諸リサイクルプラザ
 ☎36-3900

し尿処理
 ・電話受付 12月26日(月)まで
 ・最終収集日 12月30日(金)
 ・年始業務開始 1月4日(水)から

■問い合わせ
 都城北諸地区清掃公社
 ☎38-0234

急病診療機関
 ●**日中(午前9時～午後6時)**
 各当番医(25に掲載)
 ※掲載後に変更している場合があります。
 ☎23-5555でご確認ください。
 ●**夜間(午後7時～午前7時)**
 都城救急医療センター(外・内・小)
 ☎39-1100

歯科診療機関
 ●各当番医
 ☎25-4100でご確認ください。

保育所入所受け付けが始まります
 平成18年度保育所入所の受け付けが始まります。
 新規入所希望者は下記の要領でお申し込みください。現在入所している児童については、保育園を通じて案内します。
 ◎新規申し込み
 ■申込書配布時期・場所＝
 平成18年1月5日(木)以降に、町内の各保育園または役場福祉課(⑦番窓口)で配布します。
 ■申込書提出期限＝
 平成18年1月31日(火)まで
 ■必要な書類＝
 1. 平成17年分の源泉徴収票または確定申告所の写し
 2. 就労証明(両親分)
 3. 平成17年度課税証明書(平成17年1月1日現在で、町内に住民票がない人)
 ※住んでいた市町村から両親分を取ってきてください。
 4. 母子家庭については「児童扶養手当証書」を、父子家庭については「父子家庭医療費受給資格者証」を持ってきてください。また、どちらも証

書を持っていない人は、住民票と戸籍とう本をそれぞれ1通ずつ持ってきてください。
 ※これ以外の必要な書類を面接時に願います。あらかじめご了承ください。
 ■申し込み先＝町内11の各保育園
 ※町外の保育園に入所を希望する人は面接日に提出してください。
 なお、町外の保育園については、すでに入所受け付けが始まっている市町村もありますので、お早めに入所希望保育園に直接ご確認ください。
 ◎面接
 新規入所を希望する人、引き続き入所する人を問わず、全員行きます。

保育園名	面接日程
町外保育園希望者 転園希望者 返園希望者	平成18年1月12日(木) (午後1時～4時) 場所…役場4階第2会議室
こぼと保育園 ☎52-1097	2月1日(火) (正午～午後4時)
ひまわり保育園 ☎52-1377	
三股中央保育園 ☎52-1228	2月2日(水) (正午～午後4時)
神田保育園 ☎52-5889	
夢池保育園 ☎52-5060	2月3日(木) (正午～午後4時)
みどり保育園 ☎52-5002	
りんどう保育園 ☎52-3949	2月6日(日) (正午～午後4時)
くすみ保育園 ☎52-2716	
ひかり保育園 ☎52-1378	2月7日(火) (正午～午後4時)
わかば保育園 ☎52-1363	
すみれ保育園 ☎52-1363	2月8日(水) (正午～午後4時)

※保育園の定員の関係上、第1希望の保育園に入所できない場合があります。あらかじめご了承ください。
 ※面接日に来園の困難な人は、2月9日(木)以降に福祉課(⑦番窓口)にお越しください。
 ※確定申告をする人は、保育料算定に必要ですので、申告書の控えを2月28日(火)までに提出してください。
 ■問い合わせ
 福祉課 児童福祉係
 ☎52-1111(内線166)

平成18年用宮崎県民手帳の販売

平成18年用県民手帳(タテ15^{センチ}、ヨコ9^{センチ})を販売します。
 県民手帳には、県・市町村の各種統計や県内の主な行事などが掲載しており、仕事や日常生活で役に立つ手帳です。
 購入希望の人は、下記の場所で購入してください。冊数に限りがありますので、早めの購入をお願いします。
 ■金額＝1冊500円(消費税込み)
 ■販売期間＝1月31日(火)まで
 ■販売場所＝
 総務企画課、J A都城三股支所
 ■問い合わせ
 総務企画課 企画政策係
 ☎52-1111(内線225)

霧島連山中岳へ登山してみませんか

健康・体力づくりの一環として、霧島連山の一つ、中岳への登山を行います。日ごろ、ジョギングやウォーキングに親しんでいる人、霧島の大自然に触れて心地よい汗を流してみませんか。
 ■日時＝平成18年1月15日(日)
 集合時間…午前8時30分
 (中央公民館前集合、バスで移動します)
 出発時間…午前9時
 ■場所・内容＝霧島連山中岳での登山
 ※天候によっては、御少年自然の家に変更する場合があります。
 ■参加料＝1人1,000円
 ※保険料・お茶・昼食代含む。
 ■参加募集人員＝60人
 ※定員になり次第締め切ります。
 ■申込締切＝平成18年1月6日(金)
 ■申し込み・問い合わせ
 教育課 生涯学習係
 ☎52-1111(内線434)

税制改正について

平成18年度町民税が改正されました。その主なものをお知らせします。
 ■**高齢者控除の廃止**＝
 65歳以上で、合計所得金額1,000万円以下の人に適用されている、高齢者控除

48万円(所得税の場合は50万円)が廃止されます。
 ■**公的年金等控除の改正**＝
 65歳以上の人の公的年金収入から所得を算出する場合は、計算式が以下のように改正されます。なお、65歳未満の人についてはこれまでどおりです。

収入金額(A)	所得金額
330万円未満	(A) - 120万円
330万円以上 410万円未満	(A) × 75% - 37万5,000円
410万円以上 770万円未満	(A) × 85% - 78万5,000円
770万円以上	(A) × 95% - 155万5,000円

■**高齢者非課税措置の段階的廃止**＝
 65歳以上で、前年の合計所得金額が125万円以下の人に適用されていた、高齢者非課税措置が段階的に廃止されます。
 昭和15年1月2日以前に生まれた人で、合計所得金額が125万円以下の人には、18年度は町民税の2/3を、19年度は1/3を減額することになります。なお、20年度以降の減額はありません。

課税年度	昭和15年1月2日以前に生まれた人
平成18年度	町民税額の3分の2を減額
平成19年度	町民税額の3分の1を減額
平成20年度以降	減額はありません

■**定率減税の縮減**＝
 平成11年度から実施されていた、町民税所得割の「定率による税額控除」(定率減税)が見直されます。これまで所得割の15% (4万円が限度) で減税していましたが、18年度は所得割の7.5% (2万円が限度) に半減されます。
 同じように所得税の定率減税も、これまで所得税額の20% (25万円が限度) であったものが、18年分所得税では10% (12万5,000円が限度) に半減されます。
 ■**妻に対する均等割免除の廃止**＝
 生計同一の妻に対する均等割免除制度が廃止されます。
 ■**問い合わせ**
 税務財政課 住民税係
 ☎52-1111(内線133・134)

こころの健康づくり講演会を開催します

心豊かな地域づくりのためには、地域住民が心の健康に関心を持ち、心の健康の保持増進を図ることが大切です。
 どなたでも参加できます。参加料は無料です。ぜひお越しください。
 ■日時＝平成18年1月20日(金)
 午後2時～4時
 ■場所＝ウエルサンピア都城
 都城市早水町4503-10
 ■内容＝講演「現代人とストレス」～ストレスから何を学ぶか～
 ■講師＝宮崎大学教育文化助教授 富家直明 先生
 ■申込期限＝平成18年1月10日(木)まで
 ■申し込み・問い合わせ
 都城保健所 地域保健課
 ☎23-4504

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、恩明寄付を次のとおりいただきました。
 故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。
 誠にありがとうございました。
 三股町社会福祉協議会
 平成17年10月1日から31日まで

寄付者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
溝口比津子	夫	幸男	77	梶山	3万円
上原 禮	母	肇	88	山形	5万円
中嶋 正彦	母	キミエ	94	山形	3万円
草壁セツ子	夫	春夫	71	高畑	2万円
黒木 澄子	夫	正敏	88	寺柱	5万円
川畑 幸一	母	ミツ	101	前目	3万円
河野トシコ	夫	政則	89	梶山	5万円
小牧 リエ	夫	光盛	84	轟木	3万円
坂元ミエ子	夫	哲郎	83	仲町	10万円

一般寄付(社会福祉協議会へ)

社会福祉のために利用させていただきます。誠にありがとうございました。
 久松市子 毛布15枚
 三股町商工会(会長 安岡賢雄)
 (会長杯チャリティゴルフ) 4万1,000円

Children 子ども

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

平成18年4月1日から麻疹と風しんの予防接種の受け方が変わります。新制度はMR混合ワクチンを2回(1~2歳未満・5~7歳未満で各1回ずつ)受けます。

- (1)平成16年5月1日以降に生まれたお子さんで、まだどちらも受けていない場合…新制度の利用をお勧めします。2歳になる前日までに受けるようにしましょう。
 - (2)(1)以外で平成18年3月31日までに7歳6か月になるお子さんの場合…7歳6か月になる前日までに受けていない方を受けてください。
 - (3)上記以外のお子さんの場合…平成18年3月31日までに受けていない方を受けてください。
- ※受け方について分からない点はお気軽にお尋ねください。

●赤ちゃん健診

- 期日=1月6日(金)
- 受付=午後1時15分~1時45分
- ちくちく(離乳食)教室
- 期日=1月10日(火)
- 時間=午前9時30分~正午
- 持ってくるもの=母子手帳、バスタオル、おんぶひも

子育て支援センターからのお知らせ

●子育て支援センター ☎52-8101

●こここ教室

- 期日=12月13日(火)
- 時間=午前10時30分~11時30分
- 内容=手作りおもちゃ

●親子教室

- 期日=12月15日(休)
- ※12月13日(火)までにお申し込みください。
- 時間=午前10時~正午
- 場所=総合福祉センター「元気の社」 調理室
- 内容="ヘルシーおやつ作り"

1月の行事予定

- 親子教室
- 期日=1月19日(木)
- 時間=午前11時~正午
- 内容=たこあげ大会



■参加料=100円

- ※乳幼児の託児もできます。お気軽にご参加ください。
- ボンジュール・ヤナ!
- 町の国際交流員であるフランス人のヤナさんとお話してみませんか!
- 期日=12月15日(火)・1月10日(火)
- 時間=午前10時30分~11時30分



児童クラブのご案内(放課後児童健全育成事業)

●児童福祉係(内線166)

町内10カ所の児童館で、保護者が労働などで昼間家庭にいない、小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童に対し、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的として行っているものです。

■時間帯=

- 月曜~金曜 午後1時~6時
- 土曜日と夏休み(7/21~8/31) 午前9時~午後6時

※日曜・祝日、年末年始は休館です。

※ただし、上記時間帯では各小学校の帰宅時間指導に沿って帰宅を指導します。

■対象者=

小学校低学年(1年生~3年生)で、保護者が共働きなどで昼間家庭にいない児童のうち、開館日数の1/2以上利用する児童そのほか、健全育成指導を要する児童

■登録方法=

児童クラブを実施する児童館に申込書があります。申込書に必要な事項を記入・押印のうえ、実施児童館へ提出してください。

■実施児童館=

山王原児童館 ☎52-1091	プラザ児童館 ☎52-1099	今市児童館 ☎52-1814	東原児童館 ☎52-0336	豊池児童館 ☎52-3947
上米満児童館 ☎52-4373	榎木児童館 ☎52-1092	新市場児童館 ☎52-3948	梶山児童館 ☎52-1251	富村児童館 ☎52-5533

General 一般

健康管理センターからのお知らせ

- 健康管理センター ☎52-8481
- リズムウォーキング

■期日=12月19日(木)・1月16日(木)

- 時間=午前11時~正午
- ※ストレッチや「歩く」動作を中心とした運動を1時間程度行います。
- チームマイナス3 「健康づくり運動教室」
- 場所=総合福祉センター「元気の社」 東側広場
- 日程=1/13(金)・27(金) 午後1時30分~1/17(火)・30(月) 午前9時30分~

※チームマイナス3とは…来年3月を目標に、体の気になる部分(体重・体脂肪・腰まわり)の改善を目指す運動教室。申し込みと1,500円(傷害保険料)が必要です。

お酒を楽しく健康的に飲むために

今年も残りあとひと月足らず。酒席も多い時期です。お酒は「百薬の長」ともいわれますが、付き合い方次第では、薬どころか健康を害してしまう場合もあります。

節度ある適度な飲酒(1日平均純アルコールで約20g)が大切です。これはそれぞれ、ビール中びん1本、日本酒1合、焼酎(25度)1合、ワイン1杯(120^{ml})となります。

未成年者は発育途上のため、飲酒の精神的・身体的な影響が大きいとされ、法律でも禁じられています。

ルールを守って心地良い、年の瀬・新年を迎えましょう。

[適正飲酒の10カ条] ※賢アルコール健康医学協会

- 1 笑いながら、共に楽しく飲む
- 2 自分のペースでゆっくりと
- 3 食べながら飲む習慣を
- 4 自分の適量にとどめよう
- 5 週に2日は休肝日を
- 6 人にお酒の無理強いをしない
- 7 薬と一緒に飲まない
- 8 強いアルコール飲料は薄めて
- 9 遅くとも午前0時までに切り上げよう
- 10 肝臓などの定期検査を

Advanced age Long term care Insurance 高齢者(介護保険)

「徘徊高齢者家族支援サービス事業」の申し込みについて

●介護高齢者係(内線163)

在宅の認知症の高齢者が徘徊により行方不明になった場合に、家族が安心して介護ができる環境の整備と家族介護者の負担軽減を図ります。

家族などの問い合わせに対して、その高齢者の現在位置をある範囲で特定できる、徘徊高齢者検索専用端末を貸し出します。

■対象者=

65歳以上の認知症高齢者が徘徊歴のある人

■利用者負担金=

- 基本金額 500円/月
- 情報提供料金 200円/1回

- 現場急行料金 10,000円/1回
- バッテリー料金 2,100円/1個

※詳しくは、福祉課にお尋ねください。

介護保険住宅改修、福祉用具購入サービスのトラブルが急増しています

●介護高齢者係(内線162)

住宅改修をするときは、必ず事前に次の事項に注意しましょう。

- ・役場窓口、ケアマネジャーなどに相談しましょう
- ・複数の業者から見積りをとりましょう
- ・介護認定をうけてからの申請となります
- ・福祉用具を購入するときは、必ず事前にケアマネジャーなどに相談しましょう

転倒骨折を予防しよう!!

●介護高齢者係(内線163)

高齢者の4人に1人が転倒や転落を経験しています。そして、転倒などによる骨折から寝たきりになるケースが多くみられます。ちょっとした不注意による転倒で骨折してしまい、長い寝たきりの入口になってしまっているのです。

足や足指の力が弱くなると、転倒を起こしやすくなります。転倒を予防するには、丈夫な足腰を保つことが重要です。ふだんから暮らしの中でこまめに体を動かすようにしましょう。また、足の力が弱くなる原因に、足や爪の変形や異常が関係しているということが近年分かってきています。きちんと足指や爪の手入れを行うことも大切です。

足指の筋力アップ体操と爪の切り方の一例を紹介します。

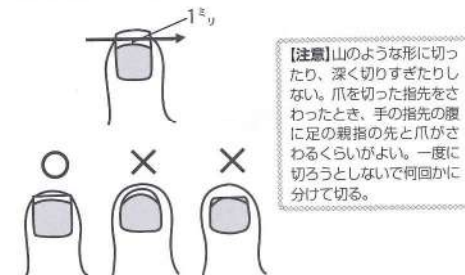
■足指ジャンケン運動



※勢いをつけてやるのが簡単になったら、今度はゆっくり行ってみましょう。思ったより指の開きが悪いこともあります。

■爪の切り方

爪の先端の白い部分が約1^{mm}、残る程度にまっすぐ切ります。



【注意】山のような形に切ったり、深く切りすぎたりしない。爪を切った指先をさわったとき、手の指先の腹に足の親指の先と爪がさわわるくらいが良い。一度に切ろうとしないで何回かに分けて切る。



大人もいっしょに『食育』

●問い合わせ：健康管理センター ☎52-8481

★食事をつくろう ～その1～ 「地産地消」

◎地産地消とは

地元で取れたものを地元で消費すること。古くは『身土不二(しんどふじ)』といって、人の体と住んでいる土地は一体であり、人は生まれた土地で生産された農産物を食べていれば病気にかかりにくいといわれてきました。地元で取れる旬の食べ物は栄養価も高く、当然新鮮です。

◎食文化を伝え続ける

皆さんは郷土料理や行食事をいくつ知っていますか？また家庭の食卓にどれくらい登場していますか？郷土食や行食事は地域独自の食文化です。大切な遺産としてしっかり子どもたちに伝えていきたいものです。

三股町の郷土料理・行食(例)

正月(雑煮)、七草(七草がゆ・ずし)、鏡開き(ぜんざい)ひな祭り(まぜめし)、端午の節句(あく巻き・だごまき)お盆(煮しめ・こんにやくの炒りあげ・がね・こめんだご)、十五夜祭り(しんこだご)、豊穰(甘酒・こんにやく)、大晦日(年越しそば)

食育って？ 毎日の食事によって身体が作られ、食事の質によって健康の質まで変わってしまいます。食べ物を選ぶ力、正しい知識を身につけ、心も体も健全な食生活を営むことができる人間を育てる教育のことです。

税

●問い合わせ：税務財政課 TEL 52-1111(代) FAX 52-4944

12月26日(月)は納付期限です

●納税管理係(内線144・147)

納付期限内に納付しましょう。

■国民健康保険税(6期)

※口座振替は12月26日(月)が振替日です。再振替は行っていません。22日(木)までに預貯金口座の残高確認をお願いします。

残高不足などで振替ができなかった場合は、その納期分の納付書を送付しますので、納付書で納めてください。

「納税相談」ご利用ください

●納税管理係(内線144・147)

税金は納付期限内に納めていただくのが原則ですが、思わぬ事故や病気、失業など、やむを得ない特別な事情

があつて納付期限内に納められないときは、印かんをお持ちのうえ、早めにご相談ください。年度を繰り越す滞納とならないように、分割納付の相談や各種納税相談をお受けします。

償却資産申告書の送付について

●資産税係(内線142・143)

地方税法第383条では、毎年1月1日現在の償却資産(土地、家屋以外の事業用資産)の所有状況について、事業者は1月31日までに申告することになっています。

当てはまる償却資産の所有者には、申告に必要な書類を12月末までに送付しますので、期限までに申告書の提出をお願いします。

申告書が届かなかった場合は、ご連絡ください。

町税の納付は「安心・便利・確実」な口座振替のご利用を!

・この社会 あなたの税がいきている ・たばこは町内で買いましょ

みまた 暮らしのカレンダー

15. December 2005 ~ 9. January 2006

※診療時間 午前9時～午後6時
※やむを得ず変更する場合がありますので ☎23-5555でご確認ください。
(※夜間/都城救急医療センター ☎39-1100)
※歯科については ☎25-4100に 問い合わせてください。

30 金	◎中山耳鼻喉科(内・小) ☎24-2648(津・白旗) ・可燃物 ・図書館休館日
	◎田口クリニック(内) ☎24-0600(津市東)
	◎児玉小児科(小) ☎25-5570(花塚町)
	◎海老原内科(内・小) ☎64-1211(山田町)
31 土	◎橋整形(内) ☎23-7236(津市東)
	◎一心外科(外・内・小) ☎52-7788(三股町)
	◎たき診療内科(内・小) ☎46-9191(若原町) ・図書館休館日

◎12月の予定

15 木	・缶・びん
16 金	・可燃物
17 土	
18 日	◎宮永病院(内・小) ☎22-2015(松原町) ◎沖水こどもクリニック(小) ☎27-5656(三股町) ◎瀬ノ口内科(内) ☎25-7780(松原町) ◎ながはま整形外科(内) ☎46-7188(松原町) ◎安藤医院(内・外・小) ☎39-2226(津市東) ◎くぼた眼科(内) ☎26-3100(津市東)
19 月	・不燃物 ・図書館休館日
20 火	・可燃物
21 水	・図書館休館日
22 木	・トレイ・ペット
23 金	◎相良内科(内) ☎22-4086(津市東) ◎富田医院(内・小) ☎23-4586(津市東) ◎隅病院(内・小) ☎62-1100(津市東) ◎都北岐島クリニック(内・小) ☎38-6060(都北町) ◎山下医院(内・小) ☎52-1348(三股町) ◎中山産婦人科(産・婦) ☎23-8815(津市東) ・図書館休館日

◎1月の予定

1 日	◎森山内科クリニック(内) ☎21-5000(津市東) ◎有馬医院(内・小) ☎23-2610(上原町) ◎宮下クリニック(内・小) ☎37-0539(津市東) ◎三州病院(内・小) ☎22-0220(花塚町) ◎永井整形外科(内) ☎51-1122(三股町) ◎野田医院(産・婦) ☎24-8553(津市東) ・図書館休館日
2 月	◎柏村内科(内・外・産・婦) ☎22-2616(上原町) ◎とくとめクリニック(内・小) ☎26-1820(津市東) ◎はしがち小児科(小) ☎24-5500(津市東) ◎西平外科(外・産) ☎25-5551(三股町) ◎庄内医院(内・小) ☎37-0522(津市東) ◎かみながえクリニック(内) ☎25-0224(上原町) ・図書館休館日
3 火	◎ふくしまクリニック(内・小) ☎46-5001(津市東) ◎ペテスタクリニック(内) ☎22-1700(津市東) ◎あきづき医院(内・小) ☎36-0534(津市東) ◎もちお純原医院(産・婦・産) ☎21-5355(津市東) ◎土井外科(内・小) ☎22-1825(上原町) ◎永吉眼科(内) ☎22-1530(津市東)
4 水	・不燃物
5 木	・缶・びん
6 金	・可燃物
7 土	
8 日	◎柳田病院(内・小) ☎22-4862(津市東) ◎福津医院(内・産・婦) ☎23-7501(津市東) ◎出水医院(内) ☎59-9424(高津町) ◎マドコロ外科(外・産) ☎22-0138(小松町) ◎はまだクリニック(外・産) ☎45-2268(津市東) ◎時任医院(産・婦) ☎23-7120(松原町) ◎藤元早鈴(内) ☎25-1212(津市東) ◎河村医院(内・小) ☎39-5868(津市東) ◎長倉医院(内・小) ☎52-2109(三股町) ◎飯田整形外科クリニック(内) ☎46-5115(上原町) ◎花房医院(産) ☎25-1177(津市東) ◎西元眼科(内) ☎25-8888(津市東) ・図書館休館日
9 月	◎城南病院(内・小) ☎26-3662(津市東) ◎西浦病院(内) ☎25-1119(津市東) ◎田中隆内科(内) ☎52-0301(三股町) ◎福田クリニック(外・産) ☎46-1122(津市東) ◎横山病院(産) ☎22-2806(津市東)

10/23 びんまつり



◎今月の表紙

「力走!」



人間早馬競争

11月12日・13日、町をあげて盛大に行われた「ふるさとまつり」の名物プログラムです。重さ100kgのツリに、一俵30kgの米俵を乗せて走るタイムレース。出場クラスによっては250kgもの重さを6人で引く強さが必要となります。毎年多くの力自らが優勝を目指して挑戦します。

Jazz & Gospel Christmas

KANKAWAオールスターズ・チャリング Ms.TONI ANN(from N.Y.)
ソウルフルな熱い歌声を

— & Tribute to Jimmy Smith —

■日時
12月16日(金)
午後6時30分開場 / 午後7時開演

■料金
一般 2,000円(当日2,500円)
高校生以下 1,000円(当日1,500円)

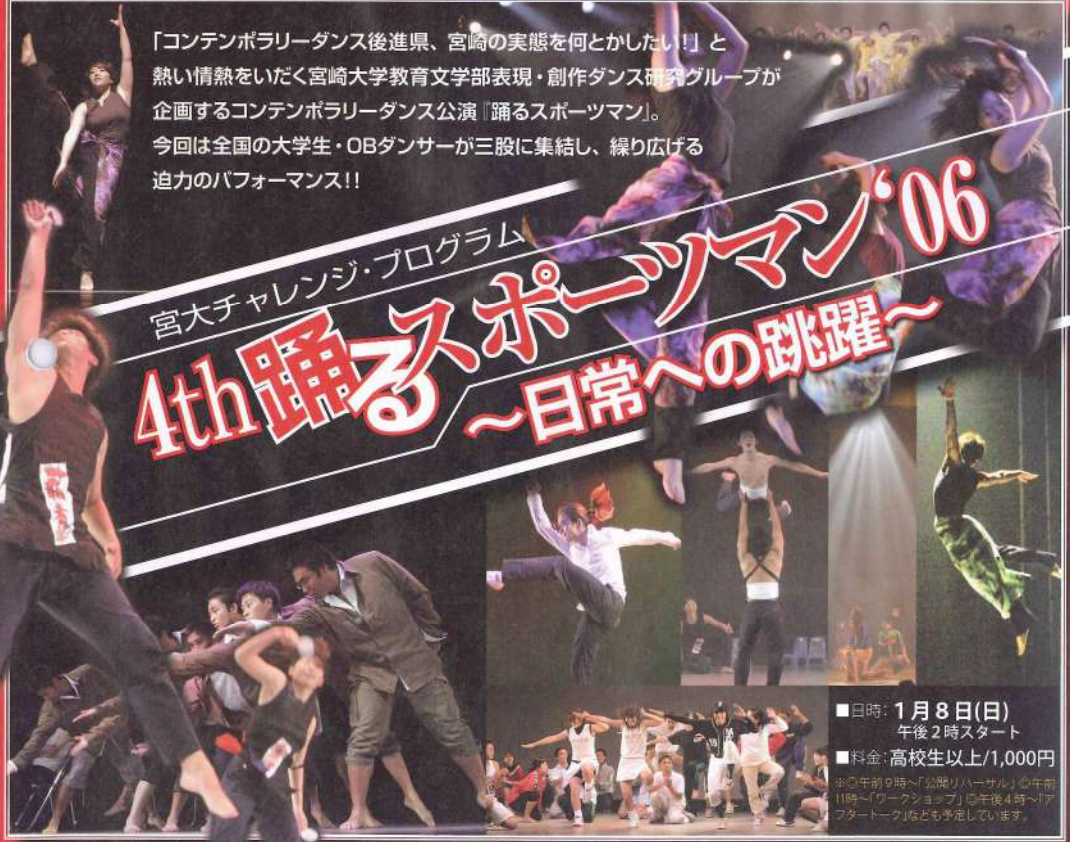
● 高自由、未就学児の入場はご遠慮ください



高自由(Dr) 竹内(Dr) Casil Monroe (Dr) Ms. TONI ANN (Vc)

「コンテンポラリーダンス後進県、宮崎の実態を何とかしたい!!」と
熱い情熱をいだく宮崎大学教育文学部表現・創作ダンス研究グループが
企画するコンテンポラリーダンス公演『踊るスポーツマン』。
今回は全国の大学生・OBダンサーが三股に集結し、繰り広げる
迫力のパフォーマンス!!

宮大チャレンジ・プログラム 4th 踊るスポーツマン'06 ~日常への跳躍~



■日時: 1月8日(日)
午後2時スタート

■料金: 高校生以上/1,000円

※ 11時~「ワークショップ」に午後4時~「アフタートーク」なども予定しています。